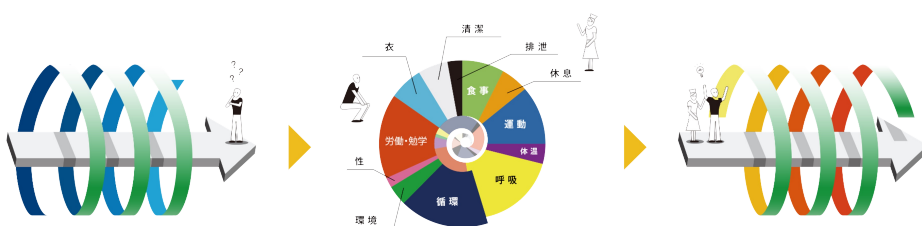


氏名	錢 淑君(せん しゆくくん)		
職名	准教授		
学位	看護学博士		
所属 部 門・ 講座	文化創成看護学部門 看護政策・管理学講座		
所属 研究 領域	Life Co-design 看護学		
e- mail	chien@chiba-u.jp		
大学 院担 当	博 士 前 期	看護学コース	
		看護実践学コース	看護管理学
所属 学会 等	日本看護科学学会、千葉看護学会、日本看護学教育学会、中華民国糖尿病教育学会、英国 Nurse Education in Practice 学会誌 International Advisory Board		
研究 テ マ	生活・生命・生きることの ICT 参加型デザインについてのもの		
研究 業績	<a href="https://researchmap.jp/read0071182/research_interests">https://researchmap.jp/read0071182/research_interests</a>		
過去 数年 分指 導し た修 士論 文の 例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「経過観察をしながら症状の顕在化を待つ医療」から、「患者の健康回復を積極的に支援する医療」への転換</li> <li>・患者の生きていく力を軸に看護の情報処理がなされる看護記録システムの再構築</li> <li>・医療上の問題解決を中心とした病院機能から患者の地域での健康的な生活を支援する病院機能への転換－急性期病院において入退院を繰り返す高齢の慢性心不全患者を支える体制づくりを通して－</li> </ul>		
主た る外 部資 金に よる	Aug.2002-Jul.2003 A Study to Creat A Infomatic technical System to Audit the metabolic control and daily life of Type 1 Diabetic patients. 補助金額：TW444,900元（台湾科学研究費） July.2001-Oct.2003 青年期1型糖尿病患者に対する IT 機器を活用した Telenursing の開発および評価 研究代表者: Phd's thesis Date Collection		

<p>研究</p>	<p>助金額：3,000,000 円（武田科学振興財団）</p> <p>Apr.2005-Mar.2006 2 型糖尿病患者に対する地域完結型医療における Telenursing 援助システムの開発 研究代表者 金額：2,000,000 円（財団法人みやぎ 21 世紀戦略推進財団：宮崎県戦略的地域科学技術振興事業補助事業）</p> <p>科学研究費基盤研究（C）</p> <p>Apr.2013-Mar.2016 看護学生の『生活パターンと自覚症状の関係チャート』及び生活改善プロトコルの開発</p> <p>Apr.2019-Mar.2023 健康生成論を応用した青壮年期女性の生活クローンモデル及び健康支援アプリ開発</p>
<p>メッセージ （任意）</p>	<p>人間の歴史を振り返ると、どんな時代においても看護が必要とされている。21 世紀になった現在、科学技術が Society5.0 に進み、社会現象、環境問題の本質は弁証法の原理原則に則していると検証出来ました。そのため、弁証法的に物事を観察し、看護専門職として違う分野の方々と Co-design し、SDGs をどのように進めていくかを皆様と一緒に研鑽していきたいと思ひます。</p> <p>弁証法は皆様にとって、あまり耳に聞き慣れていないかもしれませんが、次の模式図を用いて簡単に説明したいと思ひます。</p> <p style="text-align: center;"><b>健康に生きるには、どのように自分の身体を作れば良いか？</b> ” キーワードは 24 時間の生活 ”</p> <p style="text-align: center;">◆ これまでの生活を振り返ろう      ◆ 24 時間の生活の特徴を分析      ◆ これからの生活を考えよう</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">図1. パーソナルライフスタイルの関係</p> <p>即ち現時点の自分の状態は過去の毎日の過ごし方によって作られたきたものであり、未来の自分にも繋がっていくことです。</p>